

同種造血細胞移植体験者の皆さん（自家移植を除く）へ 移植後の予防接種に関する現状調査ご協力をお願い

NPO 法人がんフォーラム山梨 理事長
臍帯血移植体験者 若尾直子

血液疾患による治療で同種移植（自家移植を除く）を行った後には、長期に渡って移植片対宿主病（以下 GVHD）対策と感染症対策を平行して行ってまいります。GVHD 症状に合わせて免疫抑制剤やステロイドを減量していき、減量終了後に感染症予防のためにワクチン接種（予防接種）を行う、移植後の予防接種に関するガイドラインを日本造血細胞学会が作成しています（表）。しかし、予防接種の実施に関する情報提供や実施状況は、移植者の年齢や環境により差があると推察されます。また、費用の課題や接種後のフォローアップも十分になされていないのではないかと考えました。そこで、移植後の表に示す予防接種に関する現況調査を企画した次第です。

本調査は、EFPIA（欧州製薬企業協会）の助成を受け、血液疾患専門医、感染症専門医、がん看護の専門家等の協力を得て行います。

本アンケートにご協力いただける方は、同封の調査票または Web 版へのご回答へご協力のほどよろしくご協力いたします。なお、同種移植の種類は問いません。骨髄移植、末梢血移植、臍帯血移植いずれでも構いません。

また、インタビュー調査協力者も募集しています。ご協力下さる方は事務局にお申出下さい。申出の後の辞退も事務局にご連絡下さい。

表 造血細胞移植ガイドライン 予防接種（第3版）

名称	回数
小児用肺炎球菌	4回
ヒブ	4回
B型肝炎	3回
4種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）	4回
麻疹・風しん	2回
水痘	2回
日本脳炎	4回
2種混合（ジフテリア・破傷風）	1回

日本造血細胞移植学会（2018）

* 回答所要時間は 5 分程度です

アンケートフォーム Web 版はこちら⇒



《目的》同種造血細胞移植（自家移植を除く）後の予防接種に関する情報と接種の実態把握

《方法》無記名式質問票の自己記入&返信用封筒での返信、またはWeb版への入力と送信

《調査期間》2020年3月より10月

《プライバシー・個人情報の保護》協力は任意であり無記名です。なお、本調査の計画は倫理審査の承認（2019年度首都大学東京荒川キャンパス研究倫理委員会の承認（19097））を得て行っています。

《結果発表》本研究の結果は協力団体様への送付、EFPIA（欧州製薬企業協会）の発表会、関連学会等で発表後、本法人のホームページで報告いたします。 **ホームページの URL はこちら→**



《事務局：送付先&お問合せ》NPO 法人がんフォーラム山梨

郵送の場合：〒400-0025 山梨県甲府市朝日2-16-19

電話&FAX：055-252-7687 e-mail：hanamizuki@theia.ocn.ne.jp

実施責任者 NPO 法人がんフォーラム山梨 理事長 若尾直子 事務局長 雨宮 誠

研究代表者 NPO 法人がんフォーラム山梨 理事長 若尾直子

東京都立大学健康福祉学部看護学科 准教授 福井里美

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10 東京都立大学健康福祉学部看護学科

電話 03-3819-1211（代）435 e-mail：satomif@tmu.ac.jp

研究協力者 山梨県立中央病院 血液内科 飯野昌樹 感染症科 三河貴裕

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1-1 電話 055-253-7111（代）

山梨大学医学部看護学科 小児看護学領域 大島智恵（骨髄バンク移植コーディネーター）

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 電話 055-273-1111（代）